

歴史資料室、学内に開設

建学から現在への歩み回顧

京都薬大



134年の歴史を資料やパネルで振り返る



最初の校章・校旗と長井長義氏の書「切磋琢磨」

京都薬科大学は22日、京 寄贈された資料を一室に集 都市山科区にあるキャンパ めて展示。1884年の建 築の一角に「愛学躬行歴史 学からこれまでの京都薬大 資料室」を開設した。学内 の歩みを、様々な資料やパ ーネルを使って分かりやす く、今回新たに卒業生から 解説している。昔の学内の

写真を綴じた アルバムや各 校舎内の一室に約200点

の展示物を揃えた。前身の 京都私立独逸学校を創設し た若者たちが教えを受けた ドイツ人教師、ルドルフ・ レーマン氏に関連する資料 や、明治時代の薬剤師資格 証、当時の学生が講義の要 点をまとめたノート、成績 簿、角帽など長い歴史を実 感できる様々な資料を見や すく配置。日本薬学の父と 称される長井長義氏が書い た2通の書や、最初の校章・ 校旗も掲示されている。

お披露目の会であいさつ した京都薬大の後藤直正学 長は「本学の原点として資 料室ができた。ここに 原点に現在を見ることが できる。この原点からもっ と高いところへ上っていく のが本学の使命」と強調。 同窓会組織「京薬会」会長 の西野武志氏も「これがス タートだと思う。今後さら に資料室を充実したものに していきたい」と語った。

資料室は①京薬のあゆみ ②企画③京薬会④生薬標本 の4コーナーで構成。